



2022年度（令和4年度）

事業計画

社会福祉法人豊中きらら福祉会

中長期経営計画 基本工程表(平成28年度～令和7年度)

私たちは、地域の人々と共同し、民主的で開かれた経営、運営を目指します

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
本部機能の強化	組織体制の整備											中長期・事務局
福利厚生の充実	働きやすい職場環境づくり											中長期・事務局・組合
	メンタルヘルス窓口の設置											メンタルヘルス委員
	ハラスメント窓口の設置											ハラスメント防止委員会
地域貢献活動の取り組み 緊急時の安定的な運営	ストレスチェックの実施											メンタルヘルス委員
	地域貢献の定義～実践 BCP(事業継続計画)の作成											中長期・事務局 災害対策・事務局

昨年度から新型コロナウイルスも含めた災害等の緊急時にも、安定的に運営がおこなえるように作成を開始し、次年度には職員に回覧する予定

私たちは、障害のある人たちが必要な時に必要な制度が利用できるよう、働く場だけではなく生活の場など、地域に開かれた社会資源づくりをすすめます。

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
計画的な人材の確保	人事担当の設置 教育機関との連携											事務局 事務局
開かれた社会資源づくりの推進	クレヨンの移転拡張											事務局
	工房モコの移転拡張											事務局
	工房「羅針盤」の老朽化											事務局
	第2工房「羅針盤」土地建物の購入 ひだまりの家・みららの家開設											事務局
	新規グループホームの開設											暮らしの場 暮らしの場
災害対策の検討・強化	新規作業所の設立 誰もが利用できる作業所づくり											中長期・事務局 中長期・事務局
	災害対策マニュアル等の整備 災害時に向けての準備・対策											災害対策委員会
新型コロナウイルス対策の強化	リモート会議の導入・手順作成											災害対策委員会
	感染対策職員行動マニュアル作成 PCR検査シミュレーションの実施											災害対策委員会

工房モコの移転拡張：物件検討中
工房「羅針盤」の老朽化：物件検討中

災害用備品【アルファ米と乾パン】の購入及び試食

感染対策の観点から、リモート会議を継続と今後も情勢を見ながら活用し、必要備品等の購入を検討

私たちは、障害のある人のニーズや主体性、可能性を尊重した実践を目指します

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
理念に基づいた実践	理念に基づいた総括の実施 理念に基づいた研修の開催											研修委員会 事務局
支援の統一性の確保	支援関係書類の整理・統一											虐待防止委員会
給食事業の安定化	栄養士の常勤配置 セントラルキッチン構想											事務局 事務局・中長期
職員の連携強化	人事異動・交流の実施 職員会議での意見交換											事務局 全職員
実践研修の充実	職員研修として1年間実施											研修委員会

今年度も人事交流と職員全体会議を実施できていないが、全体会議については、職員数も増えていく中で密にならずに集まることも困難な状況である(現状に即した新たな形式での開催も検討している)

各事業所の後方支援として、利用者・家族の地域生活をサポート
来年度から職員を4名に増員し、「豊中市障害者相談支援センター」として相談支援事業委託を継続

私たちは、障害のある人たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
権利擁護の推進	虐待チェックリストの実施											虐待防止委員会
相談支援専門員の拡充	利用者の処遇改善											事務局
人権研修の実施	職員研修として年1回実施											虐待防止委員会
虐待防止研修の実施	職員研修として年1回実施											虐待防止委員会
身体拘束等の適正化のための研修の実施	職員研修として年1回実施											虐待防止委員会

私たちは、障害のある人が安心して暮らせる街づくりを、地域の人々と共同し、障害者運動を発展させながらすすめていきます。

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
30周年設立記念事業	法人合併とクレヨン開所式											事務局
啓発活動の推進	コンサート、映画会、法人バザー等											事務局、実行委員会
啓発活動向上委員会の設置	事業部の名称変更											啓発活動向上委員会
広報・販売活動の充実	機関紙・SNS等での広報活動の推進											啓発活動向上委員会
	自主製品カタログの作成											啓発活動向上委員会

Facebookの更新を継続し、地域への発信で他のSNS媒体の使用を検討する必要がある

自主製品の通年カタログが完成し、販売を開始した今後はより広い範囲で配布し、販売促進と啓発活動につなげていく

私たちは、障害のある人たち一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ねます

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
法人の歴史と障害者運動	職員研修として1年間実施											研修委員会
新人基礎研修の充実	3年間の新人基礎研修を実施											研修委員会・事務局
人材育成プログラムの整備	経験年数・役割別研修の実施											研修委員会・事務局
情勢学習の実施	職員研修として年1回実施											研修委員会
学びの場の確保	オンライン(オンデマンド)研修の参加											研修委員会

今年度も全体研修として、きょうされん及び大阪障害者センター主催のオンライン(オンデマンド)研修を受講した
来年度も以前の形式での研修開催は困難であることが予想されるため
現状に即した方法で学びの場を確保していく必要がある

私たちは、基本的な人権が尊重される戦争のない恒久平和の実現と民主的な社会の発展を目指します

項目	内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	実施機関
平和学習の実施	職員研修として年1回実施											研修委員会・9条の会

2022年度（令和4年度） 中長期経営事業計画

1. 民主的で開かれた経営、運営のために

- 「誰のための事業」なのかを常に原点に置きながら、着実な運営の継続と経営組織体制の強化を引き続きおこない、当法人のホームページやWAM NET等により、経営や事業運営の見える化を図る
- 人材確保が困難な中ではあるが、積極的に高校や大学等に赴き、新規学卒者等への積極的な求人活動を展開するとともに、ハローワーク等を利用して、中途採用者等の人材確保をおこなっていく

2. 地域に開かれた社会資源づくりのために

- 安心した地域生活の場づくりや建物の老朽化に伴う事業所の移転拡張等、多様化する福祉サービスの提供に備えて整備していく
- 今年度も豊中市地域貢献活動推進社会福祉法人として登録し、自助・互助・共助・公助の垣根をなくした公民共同の地域公益活動・社会貢献活動に取り組み、地域に信頼される社会福祉法人を目指す
- 利用者・職員のみならず地域の安心・安全を確保するためにも、今後も計画的に災害対策備品を充実させ、いのちと暮らしを守っていく

3. 障害のある人のニーズや主体性、可能性を尊重した実践のために

- 職員集団の質、個の質の向上を目指し、日々の実践力の充実のため、事業所間の実践交流を推進する
- 安心して利用できる実践を提供できるよう、利用者一人ひとりのニーズにきめ細かく対応し、充実を図る

4. 障害のある人たちの人権擁護のために

- 内外の研修を充実して専門的技術を習得し、障害分野だけに留まらず、一人一人の人生を豊かにできるよう人権擁護の徹底を図る

5. 障害者運動の発展のために

- 自己責任や自助・共助の名のもと、財政難を理由とした安易な弱者切り捨てがおこなわれぬよう、障害者自立支援法違憲訴訟に係る「基本合意」や総合福祉部会の「骨格提言」等、これまでの運動で勝ち得た運動成果の実現と発展のため、当事者・家族をはじめ幅広い市民に運動を広げる

6. 職員の専門的役割の自覚と研鑽のために

- オンラインシステムの構築により多くの研修に参加し、働きがいや生きがいを持てる職場、ハラスメントのない職場づくりをおこなう
- 同じ法人で働く仲間として協力し合える職員集団づくりと、階層別の研修をさらに充実させ、スキルアップ及びキャリアアップを図っていく

7. 戦争のない恒久平和の実現のために

- 地球温暖化等からくる気候変動等に問題意識を高め、武力ではなく外交や国際交流でおこなうことを目指し、また、グローバルな目線で地球上の人類が安心して暮らし、自分らしく暮らしていくために、平和で安定した社会づくりに向けて積極的に取り組む

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員14名）・就労継続支援B型（定員23名）】
 実施施設 名称 ワークセンターとよなか
 所在地 〒561-0858 大阪府豊中市服部西町5-18-5

実施期間 2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日 開所日数 244 日

従業者	管理 者	管理 責任 者	サ ー ビ ス	生 活 支 援 員	就 労 支 援 員	看 護 職 員	栄 養 士	調 理 員	事 務 職 員	運 転 手	機 能 訓 練 ・ シ	マ ッ サ ー ジ	嘱 託 医	顧 問 弁 護 士	顧 問 社 労 士	業 務 理 委 託	換 算 人 数 （ 常 勤	年 間 行 事	※定例開催：ハンドマッサージ・ふれあいエステ なかまの会 調理実習
	1	1(兼)		6	3												9	4月	入所式（所内）
				8	1	1							1				5.7	5月	避難訓練
																	0	6月	
																	0	7月	健康診断
	1	0		14	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	14.7	8月	
職員入退職状況						新規採用者 1 名						退職者 0 名						9月	
利用者	身 体	知 的	精 神	計	うち重複			認 定 区 分	6	5	4	3	2	1	未 判 定	計	10月	避難訓練	
					身 ・ 知	知 ・ 精	精 ・ 身										11月		
	男	2	29	4	35	8	1		0	1	10	9	6	4	0	5	35	1月	永年勤続表彰式
	女	2	8	1	11	2	0		0	2	1	5	2	0	0	1	11	2月	
	計	4	37	5	46	10	1		0	3	11	14	8	4	0	6	46	3月	
	平均年齢		49.0		才														
授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり 平均工賃(月額)	受注開始年月日						
	内職事業（生活介護）								17	7	320,000	4,835	平成28年4月1日						
	自主製品製造販売（生活介護）									7	780,000		平成28年4月1日						
	外部委託事業（就労継続支援B型）								29	4	1,600,000	6,076	平成11年4月1日						
								計		2,700,000									

ワークセンターとよなか

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：小島 加奈子

- (1) 昨年度に引き続き、新しいことにチャレンジしていくための雰囲気づくりやスモールステップを積み重ね、自己肯定感を高めていける環境作りをおこなう。
- (2) 授産品や利用者の作品の知名度向上を図り、新たな授産活動にも参加できるよう心がけていく。
- (3) 整理整頓された環境の維持、感染対策を意識したフロアづくりをおこない、安心して通所できる場所を提供する。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：岩田 功二

- (1) 事故を未然に防ぐ、気づきによる報告を増やしていく。また、報告書の意義を再確認し、利用者の権利を守っていく。
- (2) 日々の様子や会話等から利用者の困り事を知り、早い段階で解決できるようにしていく。必要に応じて関係機関とも連携をしていく。
- (3) なかまの会等から寄せられた利用者のニーズを受け止め、今年度も利用者主体の運営を進めていく。

③専門性の向上と人材育成

文責：熊谷 隆

- (1) チームアプローチを意識し、支援の向上を図る。
- (2) 研修や学習する機会を設け、専門性を高めていく。そして、思いを言語化し、伝える力を身につけてコミュニケーションをとり、情報共有していく。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：熊谷 隆

- (1) 安心して通所できるよう、引き続き感染症対策を徹底する。
- (2) 被保護者就労準備支援事業を継続し、生活困窮者の実習受け入れ先として、市と連携していく。
- (3) 築いてきた地域との「つながり」を大切にする。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：河田 善次

- (1) 障害福祉についての制度拡充を求めるための運動に取り組む。
- (2) 障害者・家族・関係者の願いに沿った行政を実現するための運動に取り組む。

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員20名）・就労継続支援B型（定員20名）】
 実施施設 名称 工房「羅針盤」
 所在地 〒560-0052 大阪府豊中市春日町3-1-41

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 243 日

従業者	管理 者	管理 責任 者	サ ー ビ ス	生 活 支 援 員	就 労 支 援 員	看 護 職 員	栄 養 士	調 理 員	目 標 工 賃 達 成 指 導 員	運 転 手	言 語 聴 覚 士	嘱 託 医	顧 問 弁 護 士	顧 問 社 労 士	業 務 理 士 委 託	換 算 合 計 （ 常 勤 人 数 ）	年 間 行 事	※定例開催：	
																			正 規
	1	1(兼)		8	2				1							12	4月	誕生日会	
				7		2				4	1	1	1	1	1	6.8	5月	誕生日会	
																0	6月	誕生日会	
				1												0.4	7月	誕生日会	
	1	1(兼)		16	2	2	0	0	1	4	1	1	1	1	1	19.2	8月	誕生日会	
職員入退職状況						新規採用者 名						退職者 名						9月	誕生日会
利用者	身 体	知 的	精 神	計	うち重複			認 定 区 分	6	5	4	3	2	1	未 判 定	計	10月	誕生日会	
					身・知	知・精	精・身										11月	誕生日会	
					0	0	16										12月	誕生日会	
	男	20	1	25	46	0	0		16	12	8	7	2	0	0	17	46	1月	誕生日会
	女	5	3	8	16	0	0		5	3	4	4	1	0	0	4	16	2月	誕生日会
	計	25	4	33	62	0	0		21	15	12	11	3	0	0	21	62	3月	誕生日会
平均年齢		51.8		才															
授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり 平均工賃(月額)	受注開始年月日						
	ガラスアート事業収入								7	4	300,000	6,000円	2006年（平成18年）4月1日						
	内職事業収入								25	5	1,000,000	6,000円	1998年（平成10年）4月1日						
	製菓販売収入								10	4	700,000	6,000円	1998年（平成10年）4月1日						
	マット・ミサンガ								10	5	450,000	6,000円	2006年（平成18年）4月1日						
	アロマキャンドル								10	4	20,000	6,000円	2006年（平成18年）4月1日						
									計	2,470,000									

工房「羅針盤」

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：池川 辰哉・田中 悠也

- (1) 利用者が主体的に活躍し、「来て良かった」と感じることでできる空間づくりを、職員一同努めていく。
- (2) コロナの影響があり、営業活動ができない状態にあるため、内職作業の請負数を増やしていく。また、SNSを活用し工芸等の商品受注につなげていき、工賃向上に努める。
- (3) 感染症対策を徹底しておこなう。利用者・職員の健康維持・管理に努め、必要に応じて関係機関と連携する。
- (4) 各自主製品に関わる設備が老朽化してきている。助成金等を活用し、利用者の職場環境の維持向上に努める。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：大住 茜・上月 和香奈

- (1) 日々の振り返りをおこない、相談しやすい環境をつくる。
- (2) 事故報告書、ひやりハットを分析し、再発防止に努める。
- (3) 3ヶ月に1回、虐待防止チェックをおこなう。

③専門性の向上と人材育成

文責：黒川 昇宏・渋谷 千昂

- (1) 受けるべき研修を見極め、学ぶだけでなく伝えることにも重点を置き、集団で共有することで全体のスキルアップにつなげる。
- (2) 会議が有意義な場ができるよう、一人ひとりが積極的に発言する意識を高める。
- (3) 集団として協力しながら職員の育成に努め、組織力を向上させる。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：山河 正裕

- (1) 利用者・職員等の職場環境を整備しながらバリアフリー化を進めると同時に、新たな利用希望者の受け入れを可能にするためにも、引き続き社会資源の充実と確保を目指していく。
- (2) 事業所拡張に向けて利用者、職員等の意見を幅広く集約し、メリハリのある具体的な計画を策定すると同時に、着実に実施する。
- (3) 必ずしも移転を前提とした計画に固執することなく、あらゆる可能性を模索する中で、豊中市をはじめとする行政機関とも相談、連携し、既存の制度等も十分活用しながら柔軟に対応する。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：原 悠介

- (1) 情勢の動向に目を向けていき、研修・署名活動・催しに参加していく。
- (2) 平和運動の参加と研修や会議の中で議論できる場所を設けていく。

⑥その他（新型コロナウイルスに関すること）

文責：山河 正裕

- (1) 今後の感染状況に鑑み、これまでの感染症対策を継続しながら、実践の充実を図っていく。引き続き、保健所や医療機関と連携しながら、利用者、職員の安心と安全を確保する。

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員18名）】
 実施施設 名称 工房モコ
 所在地 〒560-0032 大阪府豊中市蛸池東町4-5-4 木田ハイツ1F

実施期間 2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日 開所日数 243 日

	管理者	管理責任者 サービス	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・シ	マツサシ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税務委託	換算人数 (常勤)	年間行事	※定例月1回開催：誕生会・スポーツの日・調理実習
従業者	正規	1	1(兼)	8												8	4月	入所式・お花見
	非正規			1		1			1	1	1					1.1	5月	
	ボランティア等															0	6月	健康診断
	(内障害者雇用)			1												0	7月	
	計	1	1(兼)	9	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	9.1	8月	
職員入退職状況					新規採用者 名					退職者 名					9月	避難訓練		
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計	10月	北摂ブロックなかまの交流会
					身・知	知・精	精・身										11月	
	男		17		17	11			11	4	2					17	1月	初詣・書初め
	女		4		4	3			2	2						4	2月	節分
	計	0	21	0	21	14	0	0	13	6	2	0	0	0	0	21	3月	避難訓練
	平均年齢		43.4		才													
	授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり 平均工賃(月額)	受注開始年月日				
木工製品製造販売								21	9	180,000	3,000	1996年(平成8年)4月1日						
製菓製造販売										80,000		2012年(平成24年)4月1日						
内職作業										300,000		2014年(平成26年)9月1日						
リサイクル事業・その他										240,000		2009年(平成21年)4月1日						
								計	800,000									

工房モコ

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：小田垣 佑

- (1) 利用者の思いや意思を大切に、日中活動の中で選択肢が広がるよう一人ひとりの障害に配慮した支援をおこなっていく。ADLの変化に合わせて、日中の取り組みや生活を工夫し、利用者のペースでおこなえるよう支援する。
- (2) 障害特性に合った作業工程や道具を工夫し、利用者主体で作業を進める。授産製品は利用者の意見を聞き商品化へつなげていく。
- (3) 日々の行動や体調の変化に注意し、利用者一人ひとりの健康状態の把握に努める。引き続き、新型コロナウイルスに対して感染予防対策を徹底する。
- (4) 飛沫防止フィルムの定期的な交換をおこない、感染予防対策に努める。備品等の整理整頓を日々おこない、利用者が安心安全に過ごせる環境づくりを目指す。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：瓜生 隆紀

- (1) 職員は、利用者の権利を擁護すべき支援者であるということをしっかり自覚していき、不適切な支援については終礼等で議論し、教訓化できるようにしていく。
- (2) 報告書を作成することによって、日々の実践での気づきや予見性を高めていく。
- (3) 振り返りや終礼で議論することによって理解を深めたり、意識を向上させていく。

③専門性の向上と人材育成

文責：井口 朋子

- (1) 色々な考え方の人が集まる職場において、それぞれの意見、気持ちを尊重しながらも、疑問点は出し合って話し合い、より良い支援につなげられる職員集団を作りあげていく。
- (2) 日々の実践において、問題意識や気づきにつながるよう、専門性の向上に役立つ研修の機会を、職員の安全を最優先にしながら確保できるように努める。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：井口 朋子

- (1) 現在交渉中の物件については、希望が叶えられるように相談し、契約に結びつけられるよう交渉をおこなうが、希望にそわない場合は断念し、新たな物件を探す。なかなか希望通りの条件が整わず、移転の実現には時間がかかっているが、重要な事項であるため、焦らず丁寧にすすめていく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：武田 智也

- (1) 外部研修の活用や情勢を敏感に捉え、職員間で理解を深めて障害者運動をすすめていく。
- (2) 職員一人ひとりが「平和」への問題や基本的人権の尊重が意識できるように、終礼等で討議をして深めていく。

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員30名）・就労継続支援B型（定員10名）】
 実施施設 名称 きらら作業所
 所在地 〒560-0081 大阪府豊中市新千里北町2-19-1

実施期間 2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日 開所日数 250 日

	管理者	管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	マシン訓練・シ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託	換算人数(常勤)	年間行事	※定例月1回開催（誕生会・マイクロドライブ・なかまの店販売当番） 素のままフェスタ(休日開所):日程未定		
																		年間行事	※定例月1回開催（誕生会・マイクロドライブ・なかまの店販売当番） 素のままフェスタ(休日開所):日程未定
従業者	正規	1	1(兼)	15	2		1(兼)	1(兼)	1(兼)						16.8	4月	入所式(各事業所にて)		
	非正規			10		1			3	1	1				7	5月	北丘小さくらんぼ狩り(3年生)・北丘小対面式(1年生) 虹色コンサート(休日開所)		
	ボランティア等														0	6月			
	(内障害者雇用)														0	7月	北丘小七夕交流(5年生)・前期健康診断		
	計	1	1(兼)	25	2	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3	1	1	0	0	0	23.8	8月	北町みんなで楽しむナイト(休日開所)	
職員入退職状況					新規採用者					退職者					9月	避難訓練・厨房班戸外活動(休日開所)			
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計	10月	インフルエンザ予防接種	
					身・知	知・精	精・身										11月	なかまの交流会・障害者登山(休日開所)	
	男	12	27		27	12	1	1		16	8		3			1	28	1月	
	女	8	20	4	22	7	3	3		12	2	4	2			1	21	2月	後期健康診断
	計	20	47	4	49	19	4	4		28	10	4	5	0	0	2	49	3月	避難訓練
	平均年齢		40.0		才														
授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり平均工賃(月額)	受注開始年月日						
	配食サービス事業(就労継続支援B型)								10	4	8,200,000	21,000	平成16年4月1日						
	自主製品製造販売(生活介護)								30	17	600,000	4,800	平成10年4月1日						
	内職作業(生活介護)								8	4	65,000		平成16年4月1日						
								計		8,865,000									

きらら作業所

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：坂垣 亜樹登

- (1) 利用者に寄り添った支援をもとに、安心して過ごせる日中活動環境の提供と整備をおこなう。
- (2) 工賃規定通りに保障するための売り上げを確保する。
- (3) 他機関やご家族と密に連携をとることで、日々の生活を安定して送れるよう支援する。
- (4) 利用者の健康管理、感染症予防及び感染拡大防止に努める。
- (5) 情報共有と報連相の徹底に努める。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：天本 有紀

- (1) 不適切支援等についての議論を継続し、日々の支援を振り返ることで、利用者の権利を保障する。
- (2) 事故を未然に防ぐためにも、ひやりハット作成の必要性を意識できるように、今後も班会議等で振り返り、情報共有をおこなう。
- (3) 前年度、苦情・相談報告を具体的な事案につなげることができており、今後も引き続き事案に気づけるようにする。

③専門性の向上と人材育成

文責：大西 明子

- (1) 各職員が専門的役割を自覚するためにも学ぶ場は大切であるため、その時間の確保に努める。
- (2) より良い支援を目指して各班ではなく全体でケース会議をおこない、そこで見えた課題を検討することで学びや改善につなげる。
- (3) 聴く力と伝える技術の向上も兼ねて、今年度もワークショップをおこない、その時間を重ねる中で、互いを知り、認め合える職員集団づくりを目指す。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：大西 明子

- (1) 利用者が安心・安全に過ごせるように車両や施設の整備に努める。
- (2) 今までの慣例等に囚われることなく、作業所全体を柔軟に捉えて、班をまたいで支援できる職員体制を構築し、その安定に努める。
- (3) 各業務の内容を明確にし整理する。その上で、負担が偏らないように役割分担する。
- (4) バックアップ施設として、グループホームとスムーズに連携・協力できる職員体制を整える。兼務となる職員のあり方については、職員間で確認しながら取り組んでいく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：鷺本 恵一郎

- (1) 障害者運動の推進のために、コロナ禍でも地域との交流を絶やさず続けていく。コロナ禍の状況に対応し、今後もソーシャルディスタンスを遵守し、小グループでの交流やネットを活用したりリモート交流方法で地域との交流をおこなう。
- (2) 憲法9条関連の署名に協力する等、恒久平和へとつながる取り組みをおこなう。

⑥その他（新型コロナウイルス対策）

文責：大西 明子

- (1) 毎日の検温実施と健康観察、手洗いやマスク着用の励行。所内や車内の定期的なアルコール消毒・換気の実施に加え、所内は乾燥しないように湿度を管理し、加湿器や噴霧器を用いて加湿に努める。
- (2) 新型コロナウイルス対策に関して、制限されることがあったり、ストレスのかかることも多いため、正しい情報をもとにした細やかな対応に努める。

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員18名）・就労継続支援B型（定員18名）】
 実施施設 名称 第2工房「羅針盤」
 所在地 〒561-0808 大阪府豊中市原田元町2-25-21

実施期間 2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日 開所日数 243 日

従業者	管理者	管理サービス責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マツサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託士	換算計人（常勤）	年間行事	※定例開催：		
	正規	1	1(兼)	8	2										12	4月			
	非正規			8		1			3	1	1	1	1	1	7.3	5月			
	ボランティア等														0	6月			
	(内障害者雇用)			1											0.4	7月			
計	1	1	17	2	1	0	0	0	3	1	1	1	1	19.7	8月				
職員入退職状況					新規採用者 名					退職者 名					9月	健康診断			
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計	10月		
					身・知	知・精	精・身										11月	インフルエンザ予防接種	
	男	41	5	13	59	2	0		3	8	15	7	11	3	2	14	60	1月	
	女	10	0	6	16	0	0		1	2	4	2	1	2	0	5	16	2月	
	計	51	5	19	75	2	0		4	10	19	9	12	5	2	19	76	3月	
	平均年齢		58.6		才														
授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり平均工賃(月額)	受注開始年月日						
	下請け(タオル折り・金属の組み立て等) <生活介護/就労継続支援B型>								22	6	850,000	¥2,904	平成23年7月						
	手芸(布ぞうり・ヘアゴム・縫製等) <生活介護>								8	3	230,000		平成23年7月						
	木工(日用雑貨・玩具等) <就労継続支援B型>								22	5	360,000		平成23年7月						
	製菓(焼きドーナツ) <就労継続支援B型>								10	2	560,000		平成23年7月						
	装飾品(ハンブプレスレット・ストラップ等) <就労継続支援B型>								3	2	60,000		平成24年4月						
	紙漉き(ポチ袋・カレンダー等) <就労継続支援B型>								11	2	167,000		平成27年10月						
								76	計	2,227,000									

第2工房「羅針盤」

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：大神 彰規

- (1) 販売活動やイベント等に参加しづらい状況でも、別の販売方法を模索し販売機会を増やすことで、授産活動にやりがいをもっていただけるよう支援をしていく。
- (2) 高齢化・病状の進行に伴う身体状況の低下に対し、維持・改善につながるよう医療やご家族と連携を図る。
- (3) 安心して通所できるための整備や環境づくりをおこなう。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：肥前 貴明

- (1) 事故報告書、ひやりハットの正確な情報を周りと共有するために、事故が起きたその日のうちに報告書を上げるよう職員一人ひとりが意識する。
- (2) 運転歴に関係なく改めて自身の運転に危険な点がないか見直し、周囲の安全確認の徹底と冷静な気持ちで運転するよう心がけて事故件数を減らす。
- (3) 利用者の事故や権利侵害を未然に防ぐために、過去に多く挙がっている事故などの事案をリストアップして職員全体で共有、話し合いをおこなう。

③専門性の向上と人材育成

文責：田中 麻実

- (1) 新たなメンバー編制での組織力の向上を図る。
- (2) 新人職員を育成する。
- (3) 支援に必要な学習を実施し、専門性の向上を図る。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：奥田 真

- (1) 長期欠席者への状況に応じたフォローアップをおこなう。
- (2) 経験や障害特性に応じた研修を企画する（人事評価等からニーズ抽出）。
- (3) セルフマネジメントの強化（自己管理能力・自己理解能力）。
- (4) 職員集団の活性化を図る（フロアバランス・業務量の軽減と均等化）。
- (5) 行政・地域・関係機関との連携や啓発をおこなう。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：岡本 結衣

- (1) 研修等に参加し、障害者運動や平和について学び、知識を深めていく。得た知識を職員間で共有し、よりよい発展につなげていく。
- (2) 対面形式による販売活動のみでなく、状況によってはカタログ販売等を用いて地域とのつながりを築いていく。

⑥その他（新型コロナウイルス対策）

文責：高瀬 康次郎

- (1) 新型コロナウイルスに対する感染予防を実施する。
- (2) 助成金を活用し、衛生用品の確保と環境の整備を継続して進める。
- (3) 罹患患者や、罹患の可能性のある方に対するケアを想定し、実践につなげる。
- (4) コロナ禍におけるストレスの軽減や、職員の欠員が重なった時の体制づくりを検討していく。

2022年度（令和4年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業計画書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員20名）】
 実施施設 名称 クレヨン
 所在地 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町4-12-17

実施期間 2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日 開所日数 245 日

従業者	管理 者	管理 責任 者	サ ー ビ ス	生 活 支 援 員	就 労 支 援 員	看 護 職 員	栄 養 士	調 理 員	事 務 職 員	運 転 手	機 能 訓 練 ・ シ	マ ッ サ ー ジ	嘱 託 医	顧 問 弁 護 士	顧 問 社 労 士	業 務 理 委 託	換 算 人 数 （ 常 勤 ）	年 間 行 事	※定例開催： 【毎月1回】誕生日会・調理実習・音楽教室・ふれあい会議 〔利用者主体の授産会議〕
正規	1	1(兼)		8													8	4月	入所式（事業所内）
非正規						1							1				0.2	5月	防災訓練
ボランティア等																	0	6月	
（内障害者雇用）																	0	7月	防災訓練
計	1	0		8	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8.2	8月	健康診断
職員入退職状況						新規採用者 名						退職者 名						9月	防災訓練
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計	10月	なかまの交流会	
					身・知	知・精	精・身										11月	遠足・インフルエンザ予防接種・防災訓練	
	男	1	16	1	18	2	1			5	9	3	1			18	1月	書初め・初詣・成人のお祝い・防災訓練	
	女	1	5	2	8	1	1				4		4			8	2月	豆まき	
	計	2	21	3	26	3	2		0	5	13	3	5	0	0	0	26	3月	
	平均年齢		35.9		才														
授産活動報告	授産内容								利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者一人当たり平均工賃(月額)	受注開始年月日						
	内職作業（タオル）								26	8	45,000	2,300	2016年（平成28年）1月5日						
	内職作業（包装紙）										150,000		2019年（平成31年）4月1日						
	自主製品製造販売事業（プレスレット/コースター）										25,000		2020年（令和2年）12月1日						
	リサイクル事業（廃品/アルミ缶の回収）										357,000		2016年（平成28年）1月5日						
	その他事業（沖縄物産/販売）										50,000								
								計			627,000								

クレヨン

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：羽田 博司・仲宗根 工

- (1)自由に発言できる環境を作る中で、発言が難しい利用者に対する配慮をしていく。また、人間関係の構築で苦戦する利用者の対応の仕方を考えていく。
- (2)本人の意向と家族の思いの実現に向けて、必要な情報提供や他機関との連携を深めていく。
- (3)働く意欲の向上に向けて、ふれあい会議を利用して収支報告の理解度を深めていけるように必要な配慮をする。
- (4)地域と交流していく中で、廃品回収先を増やしていき、自主製品の紹介もしながら販路拡大につなげていく。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：宮前 貴行・日野 聡也

- (1)利用者目線や客観的視点で日々の支援を振り返り、職員全体で権利擁護に対する意識の向上を図っていく。
- (2)前向きな意識を持って、権利侵害を未然に防いでいくためにも、不適切支援について議論を、定例会議だけでなく毎日の終礼でもしていけるようにする。
- (3)報告書等で振り返るだけでなく、教訓化してきたことを実践に生かし、繰り返し起きている事案を減らしていく。
- (4)人権感覚を磨くためにも、会議の中でいろいろなテーマを取り上げ、それぞれの考えや感じたこと等をもとに議論していく。

③専門性の向上と人材育成

文責：日野 聡也

- (1)日常的に謙虚な気持ちを持って、より良い職員集団作りをするという共通認識のもと、支援の振り返りや客観的・俯瞰的視点での話し合いを大事にしていく。
- (2)情勢報告や研修報告の時間を確保し、学び合える機会を大事にする。
- (3)オンライン研修を有効活用し、スキルアップにつなげる。
- (4)学んだことや感じたこと等を言語化する習慣をつけ、伝える力だけでなく聞く力もつけていく。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：日野 聡也

- (1)事業所の環境が手狭になってきているが、地域に開かれた社会資源の一つとして、見学や実習等の受け入れは継続していく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：宮崎 憲一・萩原 歩美

- (1)職員だけでなく利用者・家族を含めて、選挙や国会請願署名の意義や重要性についての学習を継続し、社会情勢に敏感になれるようにする。
- (2)恒久平和の取り組みに日頃から関心を持ち、知ることから始める等できることから少しずつ進めていく。

ソレイユ

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：山河 正裕

- (1)各事業所において感染状況の情報提供のあり方や方法、そして認識等に違いが生じないように、支援を徹底する。
- (2)可能な限り利用希望者を受け入れられるためにも、引き続きヘルパー体制を確立すると同時に、他事業所との連携を深化させる。
- (3)ニーズの変化に即応するため、支援実施後の見直しを的確におこない、円滑なケアマネジメントを通して利用者の地域生活を支える。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：山河 正裕

- (1)今後は個人情報の確保に十分留意しながら、アプリやライン機能を有効活用し日々の記録を十分に生かしながら、きめ細やかな支援につなげる。
- (2)支援の中で課題になっている事象を明らかにするとともに、効果的な成果についても十分分析し、サービスの向上はもちろんヘルパーのやりがいを確保する。
- (3)全職員で各種マニュアルを再確認し、支援中の事故等を極力減少させるよう、より一層ヘルパー間の連携をすすめる。

③専門性の向上と人材育成

文責：山河 正裕

- (1)必要かつ確かな情報交換のためにも、感染状況に影響されないZOOM等を活用した研修の開催も検討しながら、形式的な研修にならないためにも引き続き対面研修の方法も探っていく。
- (2)利用者のニーズが多様化する中、支援のマンネリ化を防ぎ、より良い支援の質の向上を目指して、外部機関が開催する様々な研修の参加を呼びかけると同時に、事業所としてスキルアップをバックアップする。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：山河 正裕

- (1)ヘルパーの増員を実施することができたが、平均年齢は60歳台となり、現在支援している利用者の継続的かつ安定的な支援の提供のためにも、引き続きハローワーク等を活用しながら若年層のヘルパーの増員を目指す。
- (2)受講時の勤務扱いや受講費用の負担等の支援策などは維持継続し、感染状況を考慮しながら従業者によって支援の偏重がないよう取り組んでいく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：山河 正裕

- (1)工房「羅針盤」の取り組みと並行して、署名活動や研修等の参加をヘルパーにも積極的に呼びかける。

⑥その他（新型コロナウイルスに関すること）

文責：山河 正裕

- (1)感染状況の改善が見通せない中、利用者並びにヘルパーの命を最優先に守るため、引き続き感染症対策の徹底と必要に応じて支援の在り方を見直していく。また、支援のキャンセルが生じた場合は、安否確認を随時実施しフォローアップに取り組む。

相談支援センターきらら

基本目標及び計画

①実践の充実<サービス等の利用・健康/医療・不安解消/情緒安定・教育・家族/人間関係・就労>

文責：坂田 沙知子

- (1) 家族や関係機関とともに連携を図り、当事者を中心にしたより良いチーム支援をおこなえるよう努める。
- (2) 法人内外問わず、関係機関からの相談にも対応し、当事者、家族の希望する生活の実現につなげていく。
- (3) 医療や専門機関と連携し、適切な助言やサポートを受けて、当事者の健康維持と障害や病状の理解につなげていく。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：清 眞司郎

- (1) ひやりハット、事故・苦情・相談を報告・共有し、再発防止のため再分析に努める。心にゆとりをもち、業務には平常心で取り組めるようにしていく。
- (2) 常に当事者の立場に立ち、当事者自らが意思決定できるようにサポートしていく。

③専門性の向上と人材育成<研修/会議/職員集団>

文責：高橋 敦子

- (1) 行政、各種団体等による研修には積極的に参加し、受講した職員だけに留めず、職員会議で研修内容の共有を図り、職員全体で支援のスキル向上に努めていく。
- (2) 職員間でケースの状況・課題の共有を図り、支援の偏りや担当者が一人で抱え込むことがないように心がけ、より良い支援となるよう努めていく。

④事業展開の実施・民主的経営<相談支援体制/豊中市障害者自立支援協議会・エリア会議>

文責：高橋 敦子

- (1) ケースを通し、相談支援の役割を発信していき、障害分野に限らず、介護・医療・教育等、地域で支援のつながりを広げていけるように進めていく。(2) 豊中市域での相談支援体制の発展・充実のための連携強化や、個別ケースの検討等による支援スキルの向上に努めていく。さらには、地域の課題の共有や抽出も図っていく。
- (3) 各事業所と連携し、法人利用者・家族の地域生活をサポートしていけるよう努めていく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：清 眞司郎

- (1) 日常生活で疑問に感じたことを大切に、各関係機関と連携し情勢や制度についても理解を深めていき、必要に応じて社会資源の改善につなげていけるように努める。

⑥その他（コロナ禍・緊急時の対応）

文責：坂田 知子

- (1) 当事者、家族に不安を与えないように、感染防止対策を徹底する。
- (2) 緊急時の動きを想定し、支援機関との連絡調整と必要な情報の確認をしておき、スムーズに対応できるように準備しておく。緊急時の対や救急車の要請は、統一した手順で進めていく。

グループホーム

基本目標及び計画

①実践の充実<生活/労働/健康管理/環境など>

文責：磯島 貞幸

- (1)日常生活に支障がないよう考慮し、必要に応じて改修や備品購入をしていく。
- (2)バイタルチェックや服薬管理、医療機関等と連携して、体調管理をしていく。
- (3)摂取量の調整や刻み食等、個々に合わせた食事を提供する。

②権利保障<権利擁護/事故報告書/ひやりハット報告書/苦情・相談報告書など>

文責：磯島 貞幸

- (1)報告書は早めの作成を心がけ、職員会議等で分析をおこない、対応や解決策を情報共有し、再発防止に努める。
- (2)事故やひやりハット等の事例を通して、教訓や対策について情報共有をおこない、統一した支援につなげていく。
- (3)虐待防止についての研修をおこなう。

③専門性の向上と人材育成

文責：磯島 貞幸

- (1)職員一人一人に合わせた伝え方を工夫し、コミュニケーションを図る。
- (2)支援計画等の各種書類の管理を、お互いにチェックやフォローできるように表を作成する等の工夫をする。また、定例会議等で進捗状況を確認し、見通しを立てて書類の作成、整理をしていく。
- (3)各種研修に参加してスキルアップしていく。

④事業展開の実施・民主的経営

文責：中村 元英

- (1)介護者の急な入院等で緊急的に短期入所の利用が必要な場合は、日中事業所と連携して利用者の受け入れをしていく。
- (2)安定した事業運営をしていくためにも、日中事業所との兼務等、多様な働き方を模索していく。

⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：荒内 玲

- (1)「通院等介助の利用は慢性疾患に限り、月2回」「特殊寝台はホーム入居者は対象外」等、高齢化が進む中で、今後ますます必要となってくる福祉サービスが利用できないことがあるので、利用者の生活実態を踏まえて行政に訴えていく。

⑥その他（感染症対策/緊急時対応）

文責：荒内 玲

- (1)共用部でのマスク着用、食事の場所や座席・時間の変更等、引き続き感染対策に努める。
- (2)利用者の体調不良や感染症発症時等の緊急時に対応できるように、日中事業所と連携していく。